

(様式1)

令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

- 1 施設名 (所管課)
富山県漕艇場 スポーツ振興課
- 2 施設所在地
富山市岩稲20-1
- 3 施設設置年度
平成5年度
- 4 設置目的
県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。
- 5 施設概要
コース(1,000m×6レーン)・・・日本ボート協会B級公認コース
(主な設備等)
・艇庫(100艇収容)
・宿泊室(8室・64名)、食堂、浴室、会議室
- 6 指定管理者
公益財団法人富山県体育協会
- 7 指定期間
5年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人)

H30	R1	R2	R3	R4
17,998	18,366	13,059	13,181	15,030

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H30	R1	R2	R3	R4
1,225	949	422	176	567

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H30	R1	R2	R3	R4
968	976	986	986	986

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和4年度は、コロナ禍における社会経済活動の回復傾向に伴い、利用者数・料金収入ともに増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げや臨時開館に柔軟に対応した。（繰上げ開館 2件、臨時開館 2件）
・施設利用者へのアンケート調査、競技団体からの聞き取り等により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。
・施設利用者の便宜を図るため、引き続き飲料等の自動販売機を設置した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・県内外の競技者を対象とした記録会（タイムトライアル）を開催し、施設の利用促進を図っている。
・SNS（Facebook）により、施設の利用状況（天候や湖面使用の可否等）や記録会の開催案内を掲載するなど、情報発信の充実に努めている。
・ボート競技以外の宿泊についても積極的に受け入れることとしており、施設の有効利用に努めている。また、県総合体育センターと連携し、同センターで受け入れできない宿泊希望者を受け入れる体制づくりに努め、宿泊施設の有効利用を図っている。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：①事務所前にアンケート用紙を設置、宿泊団体に依頼 ②競技団体指導者や利用者への聞き取り
回答者数	回答者数：アンケート回答 26人
結果	・職員の対応がよい 96%、今後も利用したい 100% ・意見・要望等 雨天時に利用可能なトレーニングマシン（エルゴメーター）やウエイトトレーニング機器を設置してほしい
結果を踏まえた改善事項	・令和4年度に、県と指定管理者との協議の上、県においてローイングエルゴメーター5台を購入し配備した。 ・引き続き、備品の整備については、県と指定管理者で協議を行い、必要に応じて対応していく。

② その他利用者の声を反映させる取組み

競技団体等からの聞き取り等により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。

③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

- ・県高校総体において、コース設営、会場準備など大会の実施・運営に協力した。
- ・地元の祭礼や新春行事に協力し、地域との親交を図り、施設の周知を行った。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・事故発生時の早急な対応のため緊急連絡網を作成している。
- ・湖面利用における事故防止のため、ダム湖を管理する北陸電力神二ダム管理事務所と常に連携を図り、安全管理に努めている。
- ・安全監視艇（指導艇）のモーターボートを常に整備し、湖面上の事故に素早く対応できるように努めている。
- ・湖面上の流木の除去や危険箇所の確認、安全管理のための巡視等を実施し、事故防止に努めている。
- ・毎年変化する練習水域の護岸状況や危険箇所を確認し、ハザードマップを更新するとともに艇庫前に掲示し、危険箇所の把握や通行ルールを利用者に周知徹底し、事故防止に努めている。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として検温、換気、機器・用具の消毒等を徹底した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のための施設利用ガイドラインを作成し、利用団体への周知を行った。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	1
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・競技性が高く利用者が限られていることや、自然条件により施設使用が制限されることから、今後とも関係団体等と連携し、合宿利用の増加や初心者を対象とした教室等の充実、記録会の実施など、より一層の利用促進に向けた継続的な取組みを行っていく必要がある。
- ・引き続き、県総合体育センターとも連携し、競技団体以外への会議室や宿泊室の利用推進に努め、新たな利用者の開拓と施設の有効活用を図る必要がある。